まずはじめに 当事者という経験専門家に聞いてみる



一緒に京都旅行したのが 水平な関係の始まりだった(若生さん)





この人は、だれ?



子どもたちに、なにを話すの?





ADI京都2017 どうだった?



この人たちは、だれ?



ゆるたんツアー



『おれんじドア』って、どんなところ?

- 本人と家族を離すのは、どうして?
- 本人に、どんなことを聞くの?
 - 病気のこと?
 - 困っていること?
 - やりたいこと?
- 本人は、どんな風に変わるの?
 - 来た人の話し、聞かせて...



2015年5月~

平成29年度名古屋市西区認知症専門部会事業

おれんじド

も~やっこなこ"や

一ご本人のためのもの忘れ相談窓口一

わたしは51歳の時に認知症と診断され、将来への不安でとても落ち込みました。でも、同じ認知症の当事者と出会う中で「ひとりじゃない」「前向きに明るく生きていこう」と思えるようになりました。

認知症と診断され、不安でいっぱいの人、閉じこもりが ちになってしまっている人、まだまだたくさんいると思い ます。そんな人たちに元気になってもらいたい、外に出て きてもらいたい、そんな思いで「おれんじドアも~やっこ なごや」を始めることにしました。

(おれんじドアも~やっこなごや代表 山田 真由美)



もの忘れが心配なあなたへ

相談できる場所・医療・これからの暮らしのことなどが分かる

認知症ケアパス

~みんなの安心、分かる・見える・つながるを大切に~





本書の使い方(はじめに)

この冊子を手にとっていただき、ありがとうございます。 今のあなたは、もの忘れに悩みながら自分が認知症かも しれないと不安な気持ちで毎日を過ごしていたり、認知症と 診断されてまだ日が浅く、信じられない気持ちで辛い思いを しているかもしれません。あるいは、すでに長く認知症の治 療をしているとか、認知症を患った家族の介護をしているか もしれません。

不安を一人で背負わないように、あなたに知って ほしいことが3つあります。

- ①認知症になっても、社会とのつながりの中で 生活が続けられること
- ②早めに病院に行き、相談することが大切なこと
- ③相談窓口がたくさんあること

この冊子は、相談窓口や医療のこと、病気を周囲に伝える かどうか、日々の暮らしのことなど、たくさんのことが書いて あります。

今すぐに全てを読む必要はありません。あなたの気持ちが 少し落ち着いたときに、ゆっくり読んでみてください。

この人たちは、だれ?





この人は、だれ?





権利って、なに?

• 偏見

- 病気のこと、はじめから言えた?
- 自分の中にも、偏見はあるの?

• 自立

- 自立って、危なくないの?
- 自分で飲み物を選ぶ?
- 運転免許は?

• 権利

- 今まで、考えたことあった?
- どうして考えるようになったの?



伝えたいこと

- 医療の現場の人たちに…
 - 病棟から出られない?
- •介護の現場の人たちに...
 - ケアマネが話す相手は?
 - ・重い人は違う?
- 行政の人たちに…
 - ・認知症カフェで尋問?
 - 「集まる」と「集める」

- メディアの人たちに…
 - ・認知症らしく?
- ・家族の人たちに...
 - 守ってほしい?
 - 怒られない環境?
- •認知症と診断された人たちに...
 - 脳トレや筋トレをすすめる?
 - なにが大切?

どんな社会になればいい?

 Making sure nobody faces dementia alone



• I'm walking for a world without dementia



丹野さんは、どうしていつも笑顔なの?



